

常陸大宮市 議会広報



第61号

令和2年2月10日
発行 常陸大宮市議会



主な内容

- 第4回定例会 — P2~P3
- 議決一覧 — P4
- 常任委員会審査pickup — P6~P7
- 一般質問 — P8~P20
- 行政視察 — P21
- まちかどから — P22

条例 制定

議案第102号

常陸大宮市会計年度任用職員の 給与及び費用弁償に関する条例

会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、会計年度任用職員の給与等を定めるものです。

施行期日 令和2年4月1日



令和元年 第4回 定例会

会期
12月9日から
12月20日まで

条例制定
2件

条例改正
11件

工事請負契約
1件

字の区域変更
1件

指定管理者
2件

市道認定
1件

補正予算
13件

人事案件
2件

すべて原案
どおり可決

議案第103号

常陸大宮市認定こども園の設置及び管理に関する条例

市立美和幼稚園と市立美和保育所を統合して、新たに市立認定こども園を設置し、就学前の子どもの教育及び保育に対する需要の多様化並びに少子化の進行に対応するものです。

名称

常陸大宮市美和認定こども園

位置

常陸大宮市高部2044番地

類型

幼保連携型認定こども園

施行期日

令和2年4月1日



市立美和幼稚園と市立美和保育所



議案第104号

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

会計年度任用職員制度の創設に伴い、臨時職員や嘱託職員の身分を見直すなど、関連する18の条例を整備するものです。

施行期日 令和2年4月1日

議案第108号

常陸大宮市税条例の一部を改正する条例

固定資産税に係る全期前納報奨金制度を廃止するため、条例の一部を改正するものです。

施行期日 令和3年4月1日

議案第110号

常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

高校生の外来に係る医療費を医療福祉費の支給対象とし、子育て世代の経済的支援を図るものです。

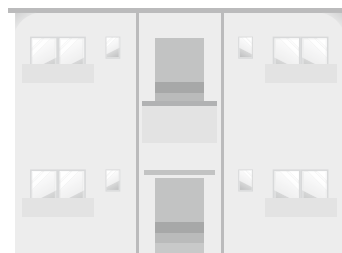
施行期日 令和2年4月1日

議案第111号

常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例

市営住宅の入居に際し必要とする連帯保証人を2人から1人に改めるものです。また、連帯保証人の県内居住要件を削除するものです。

施行期日 令和2年4月1日



これらを含む11件の条例改正議案が提出され、すべて可決されました。



議案第117号

指定管理者の指定について

常陸大宮市文化センターの管理を株式会社ディックスプロモーションへ指定するものです。

指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日 5年間



常陸大宮市文化センター

議案第116号

指定管理者の指定について

やまがたすこやかランド三太の湯・ごぜんやま温泉保養センター・四季彩館・美和ささの湯の管理を、常陸大宮市温泉事業株式会社へ指定するものです。

指定期間 令和2年4月1日から令和5年3月31日 3年間



やまがたすこやかランド三太の湯

令和元年度第4回定例会議決一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第102号	常陸大宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	総務	可決
議案第103号	常陸大宮市立認定こども園の設置及び管理に関する条例	文教福祉	可決
議案第104号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	総務	可決
議案第105号	常陸大宮市職員の給与に関する条例及び常陸大宮市上下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第106号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	総務	可決
議案第107号	常陸大宮市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第108号	常陸大宮市税条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第109号	常陸大宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第110号	常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第111号	常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第112号	常陸大宮市上水道事業給水条例の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第113号	常陸大宮市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第114号	工事請負契約の締結について（常陸大宮市新学校給食センター建設工事・厨房設備工事）	—	可決
議案第115号	字の区域の変更について（三美地区の一部）	—	可決
議案第116号	指定管理者の指定について（やまがたすこやかランド三太の湯・ごぜんやま温泉保養センター四季彩館・美和ささの湯）	経済建設	可決
議案第117号	指定管理者の指定について（常陸大宮市文化センター）	文教福祉	可決
議案第118号	市道路線の認定について（11212号線）	—	可決
議案第119号	令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算（第6号）	予算決算	可決
議案第120号	令和元年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第121号	令和元年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
議案第122号	令和元年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第123号	令和元年度常陸大宮市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
議案第124号	令和元年度常陸大宮市上水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
議案第125号	令和元年度常陸大宮市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第126号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（山方 鈴木 泰全氏）	—	同意
議案第127号	教育委員会委員の任命について（氷之沢 梶本 勇夫氏）	—	同意
議案第128号	常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総務	可決
議案第129号	令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算（第7号）	予算決算	可決
議案第130号	令和元年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
議案第131号	令和元年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
議案第132号	令和元年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
議案第133号	令和元年度常陸大宮市上水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第134号	令和元年度常陸大宮市下水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決

総務

議案第102号

常陸大宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

Q 採用時の公募内容、募集方法について

A 公募は各所管課で行うこととし、特に年齢制限等は考えていません。

募集については、お知らせ版等で周知し、公募内容については、市のホームページに掲載を予定しています。また、その他の募集方法として、ハローワークへの公募は所管課が判断し行うこととなります。

議案第105号

常陸大宮市職員の給与に関する条例及び常陸大宮市上下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

Q 評価者や調整会議について

A 評価は、所属する上司が行うこととし、一次評価者と二次評価者の2段階で行います。

各課から提出された評価については、市幹部で構成する調整会議をもって、適正性を確認します。

◎委員長
○副委員長

◎小森敬太郎
○黒部 博英
金子 卓
武石 寿長
大貫 道夫
小原 明彦

文教福祉

議案第103号

常陸大宮市立認定こども園の設置及び管理に関する条例

Q 令和2年度の入園見予定数は

A 40名程度を見込んでいます。

Q 美和保育所の送迎バスについては継続されるのか

A 現在の美和保育所園児送迎バスの運行管理業務委託が令和2年3月31日で契約が終了するため、令和2年4月1日から新たに契約を締結します。

議案第110号

常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

Q 「母子家庭の母子」及び「父子家庭の父子」に係る高校生を加えるところがあるが、未婚についてはひとり親世帯に該当するののか

A 未婚であってもひとり親世帯に該当します。

議案第117号

指定管理者の指定について

Q 常陸大宮市文化センターの利用人数の中には無料入場者と減免入場者も含まれているのか

A 含まれています。全施設利用人数として計上しています。

◎委員長
○副委員長

◎大瀧愛一郎
○三次 弘史
高村 和郎
吉川 美保
高村 功
坂 司一

経済建設

議案第111号

常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例

Q 市営住宅の明渡し請求時の額の算定に用いる利率を法定利率にするということは、算定する率が変動するということか

A 法定利率に変動があったときには、利率の変動に合わせて請求することとなります。

議案第116号

指定管理者の指定について

Q 指定管理料の施設ごとの割合は

A 施設の大きさ等も違うため、今年度と同じような算出割合になります。

Q 指定管理期間はなぜ5年ではなく3年なのか

A バイオマスチップボイラーを導入して間もないため、安定的・持続的な運用について検証しているところです。指定管理料の関係もあり、効率的な運用ができるように3年としています。

◎委員長
○副委員長

◎坂本 繁輝
○富山 和男
秋山 信夫
掛札 行雄
淀川 茂樹
岡崎 欣也

議案第119号 令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算（第6号）

Q 台風19号対策関係の歳入の詳細は

A 国庫補助金16億1245万円、県補助金5950万円、市債として14億8520万円、ほか雑入として10万円、合計31億5725万円です。



Q 緒川地域スタンプラリー賞品の予算増、好評の原因分析は

A 11月末日の集計で参加者756名となりました。参加内訳は市内151名、市外512名県外93名でした。春の芝桜が好評です。協賛店を募り新聞掲載でのPRも効果があったと考えます。

Q 常陸大宮市文化センター指定管理料は前契約と比較するとどのようになるのか

A これまでの5年間は3億456万円でした。

令和2年度から5年間として、債務負担行為3億2341万円を計上しました。物価上昇分を見込んだ人件費、その他需用費や租税公課等が増額の要因です。

予算決算

○◎吉川 美保
◎小森敬太郎
○金子卓
秋山信夫
掛札行雄

高村和郎
武石寿長
大貫道夫
富山和男
坂本繁輝

三弘史
岡崎欣也
大瀧愛一郎
小原明彦
黒部博英

◎◎委員長
◎副委員長
高村司
高村功
坪司一

あなたが出された 請願・陳情は！

陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	結果
陳情第R1-1号	山方第2区地内の水害対策における市道等の改修について	常陸大宮市山方1087-1 山方第2区 区長 高村 壽夫 ほか41名	経済建設	採択すべきもの

令和元年第2回臨時会議決一覧

(令和元年11月12日開会)

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第100号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算（第4号））	—	承認
議案第101号	令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決

今回12人の議員が登壇し、
さまざまな視点から市政を問いました。

岡崎 欣也 議員 P 9
◇市役所職員について ほか

武石 寿長 議員 P 10
◇市長選挙について ほか

黒部 博英 議員 P 11
◇子育て支援について ほか

金子 卓 議員 P 12
◇台風第19号水害と地域防災計画について ほか

三次 弘史 議員 P 13
◇台風19号による水害について

吉川 美保 議員 P 14
◇被災者等支援と防災意識の共有について ほか

富山 和男 議員 P 15
◇台風19号の対応について ほか

小原 明彦 議員 P 16
◇災害対応について ほか

高村 功 議員 P 17
◇台風19号被害について ほか

高村 和郎 議員 P 18
◇市民の暮らしから ほか

坏 司一 議員 P 19
◇危機管理体制について ほか

大貫 道夫 議員 P 20
◇環境行政について ほか

◇一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として、市の行政全般にわたり市当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し新規政策を提言する議員の重要な活動です。

一般質問

市政を問う

市役所職員について 県職員の出向について

総務部長／
対等相互交流も検討

県の土木部職員を常陸大宮市へ迎えることにより、特に災害が発生したときには、より密に県土木部とパイプがつながり、災害復旧・復興、土木事業が円滑に進むと思いますが見解を伺います。

総務部長

現在、大宮土木事務所
に1名の職員を実務研修生として派遣しております。対等相互交流による人事交流も考えられますが、県の意向等も十分踏まえながら検討していきます。

職員研修について

総務部長／新たな視点で

民間会社担当者を講師に招き、自治体の先進例を学ぶような研修を実施していきますか。また、実施していない場合は業務改革、業務効率化は重要と考えますが、見解を伺います。

総務部長

民間企業の方が市役所の業務を実体験し、その体験をもとに業務改善の講義をするといった内容の研修については実績はあります。業務改革、業務の効率化は重要であると考えており、新たな視点の業務改善研修につきましても取り入

れていきます。

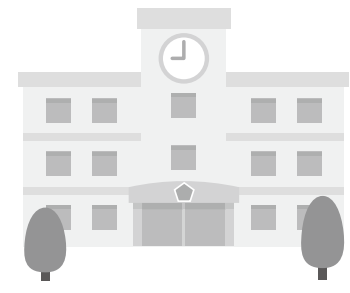
市内小中学校について

教育長／
適正配置計画の必要性

令和の時代小中学校適正化について伺います。

教育長

今後のさらなる少子化が進む中、児童生徒数がさらに減少していくことが予想されており、今後適正配置計画の必要性などを協議することも必要となつてくると考えております。



国土強靱化基本法について

市民生活部長／
自主防災組織の設置

台風19号の甚大な被害を減災にするためには今回の災害での被害状況をきっちり把握して、マイタイムラインを市民の皆様にごとに普及が大切と思います。が今後どのような施策に努めますか。

市民生活部長

洪水等で住民の方への避難誘導について出来る限りのことをやっていくことが必要であり、市を始めとした自衛隊、警察、消防等が連携して避難誘導することが重要であり、また今後、住民の方への自助、共助の推進、特に自主防災組織を設置していない地区の自主防災組織の設置と、普段からの活動促進を図り、洪水等の災害の危険が迫る前に住民の方自らが避難する、あるいは近所同士の住民の方が協力し合って避難するという意識を醸成していく施策を推進していきます。国土強靱化地域計画を策定し、ハード面、ソフト面の施策を計画、実施していきます。

岡崎 欣也

議員



その他の質問

・マイナンバーカードについて

4月市長選挙は

市長/今期限りで引退

武石 寿長

議員



健全と拝見いたします。
オリンピック・パラリンピックを来年に控え、常陸大宮駅周辺整備事業や台風19号被災からの復旧・復興など、次期4期目も市長として本市のかじ取りをして戴きたいと思いますが、市長のお考えを伺います。

市長

私は、平成20年4月に常陸大宮市長に就任以来、来年の4月22日で3期目の任期満了を迎えます。

現在の私の心境は、台風19号の復旧、復興に全力で対応してまいりたいと考えています。4年前の2期8年の任期満了間際にも、3期目に向けての考えを一般質問で聞かれました。それは平成27年9月の第3回定例会でした。その時の答

弁を議事録から引用しますと、市長選への進退については、私の任期が残り半年以上もある中で、本日この時点で立候補宣言をすれば、一挙手一投足すべてで選挙運動とみられるおそれも出てきます。反対に、来年4月の市長選挙には出ません、と宣言すれば、それこそレイムダック（役立たず）になってしまいます、と言つて9月の時点では、明確にできない旨のお話を申し上げました。しかし、その後の第4回定例会では、どなたからも市長選挙についての質問はなく、一方で各種団体からの出馬要請が相次ぎ、平成28年1月23日、市政継続を要請する会から3期目の出馬要請があり、記者会見を開き、出馬表明をしました。その時の心境を、「アンコールに應えるのは一度だけ、重ねて立つはブーイングの元」と、4年前にはっきりと自分で決心していました。改めて、連続2期無投票当選をさせていただいた市民の皆様や、支持者の皆様、心から感謝申し上げます。平成の御代から新しい令和の御代を迎えた中での常陸大宮市の行く末をしっかりと見届け、残りの任期を全力投球させていただくことをお誓い申し上げます、答弁いたします。

その他の質問

- ・ 台風19号について
- ・ イノシシ対策について

三次市長は、就任されて以来、今日まで精力的に職務に従事され、4月で3期目の任期が満了します。市民の福祉の向上を最優先とし、行政施策はもろろのこと、長期的な視点に立った市政発展に取り組んでられました。

東日本大震災や今回の台風19号と、未曾有の災害も経験され、多岐にわたり豊富な経験と知識の持ち主であり、年齢的、身体的にも



英語検定受験料の補助について

教育長／
早期実現できるように検討

英語受験料の補助について伺います。

教育長

受験料を補助することにより、中学生の積極的な受験を促し、学習意欲を高めるとともに英語力の向上を目指し、保護者に対しても負担軽減を図ることができると考えます。英語検定補助については、早期実現できるように検討します。

スクールバスの目的外利用について

教育部長／
利用しやすくなるよう検討

スクールバスの目的外利用について伺います。

教育部長

スクールバス1台あたり年間10回の目的外利用を認めています。今後の運行の拡充ですが、スクールバスの全体的な見直しの中で、利用回数を含めて利用しやすくなるよう検討します。

駅周辺整備計画について

建設部長／
検討委員会等において策定協議

整備スケジュールについて伺います。

建設部長

5カ年を一つの期間として、3期15年の計画期間を設定します。初期5年で整備する事業は、東西の駅前広場、駅舎の改築及び自由通路の整備を進めていきます。駅東口の都市計画道路大宮停車場線についても、令和2年度の都市計画決定に併せて、整備範囲を定め、事業に着手していく方針です。

駅前広場の整備について伺います。

建設部長

駅前広場については、鉄道利用者やバス・タクシー・一般車などの自動車の乗り継ぎを円滑に処理する交通結節点としての役割を持つ交通空間と、人々の交流や都市の景観を形づくる役割を持つ環境空間に対応した内容と規模で計画します。

街並み景観について伺います。

建設部長

景観の整備については、地域の方々と意見交換を行いながら、住民参加の街並みづくりを検討していきます。どの様な土地の利用が

図れるか、良好な景観形成の効果を生かした地域振興等、駅前商業ゾーンの活性化につながるよう地域の方々と検討していきます。



黒部 博英

議員



その他の質問

・道路整備について

金子 卓
議員



台風19号で稲の作付ができない農家の補償

市長／検討する余地はあると思う

台風19号水害に関しての質問が大部分です。被災者に対して、現行制度を最大限に活用するという観点で質問します。

農地等の被害概要をお聞かせください。

産業観光部長

農地・農業用施設被害ですが、現在のところ455ヘクタール、推定被害額は5億9140万円と現時点ではなっています。

被害を受けた水田の復旧が、来年の作付に間に合わなかった農家に対して補償

する制度は国・県にありません。それであれば、市独自で制度をつくって補償してはどうでしょうか。

市長

新たに制度をつくるという考えはありませんが、これは検討する余地はあると思います。

次に、災害救助法に定められている「住宅の応急修理」です。応急修理の申請件数と応急修理に該当した件数の直近の数字をお聞かせください。最近、市のホームページで応急修理の救

助期間を3カ月以内とまた1カ月延長されたとの情報が掲載されましたが、被災者にどのように周知したのかお聞かせください。

建設部長

現在は応急修理完了期間が令和2年1月11日まで延長されており、この期間については、既にホームページで知らせています。しかし、ホームページを閲覧できない方もいることから、郵送等にて個別に通知して周知を図って行きたいと考えています。

保育所等の主食・副食費 保護者負担の軽減

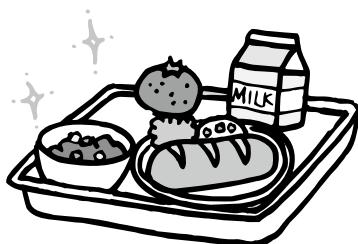
保健福祉部長／経済的負担軽減の事業を検討したい

学校給食費も同様ですが、今回の保育・幼児教育の無償化でも、人口減少に苦慮している、隣接の常陸太田市、大子町、城里町と給食費の対応で差がついてしまいました。

いずれも、無償化すべきと考えますが、当面、市立施設と民間施設の主食・副食費の保護者負担を同じにするよう、市の助成を拡大することを求めるものではないかがでしょうか。

保健福祉部長

本市では、幅広い子育て支援施策を展開していますが、さらに充実できるように、民間幼稚園・保育所等の給食費保護者負担の軽減を含め、子育て世代の経済的負担を軽減する事業を検討して行きたいと考えています。



その他の質問

- ・公共交通について
- ・国保税について

台風19号による水害について

建設部長/
県に無堤防区間の築堤を要望すると共に
河川掘削などを検討

台風19号接近に伴い、避難勧告や避難指示を発令しましたが、住民の避難行動状況はどうだったのか伺います。

市民生活部長

指定避難所を19カ所開設しましたが、収容人員は約7千名のところ、避難された方は約660名でした。防災行政無線、エリアメール、広報車等で避難情報の伝達に努めました。避難者が少なかつた状況であり、今後は自らが積極的に避難する意識の醸成と一層の自助・共助の理解促進を図っていきます。

今回は、想定外の大雨のために河川が氾濫したわけですが、これからも大型台風の上陸する可能性は、地球温暖化が続く限り増えると予想でき、早急な原因究明と対策が必要です。山方地域の洪水の原因と対策を伺います。

建設部長

今回の洪水について分析すると、家や農・西野内・小貫地区は、想定以上の雨量により、久慈川が越水したことにより、堤防が決壊したのではないかと考えます。一方、盛金・舟生地区については、久慈川の増水に伴い、支流の河川が流下できず、内水面での越水が発生したこと。また上流部からの流木等による河川狭窄部の閉塞が原因であったと考えます。今後の対策については、県に対して、無堤防区間の築堤などを要望すると共に、市が管理する河川においても河川の適切な維持管理に努め、河川掘削なども検討します。

久慈川、入山川、諸沢川、枇杷川には、大量の土砂が堆積しており早急な土砂の撤去を要望します。また、家や舟生橋と神奉地橋付近の久慈川右岸、西野内山下の諸沢川右岸と久慈川左岸の築堤を県に要望して欲しいと思います。次に、平山橋の復旧について伺います。

建設部長

国の災害復旧事業の実

施査定を控えており、その後には橋梁の復旧工事を年度内に発注し、早期の復旧を目指したい。地域にとって生活に密着している橋であり、ご理解とご協力を頂きながら工事を進めます。

山方用水路の復旧について伺います。

産業観光部長

舟生橋北側付近の水路

には、大量の土砂等の堆積があり、被害が甚大なことから、現在調査設計を実施しており、年明けにも土砂等撤去工事を実施する予定で、来年春の田植えまでに復旧できるよう地元組合と協議を進めています。



洪水の一因と考えられる下小川橋に留まる大量の丸太

三次 弘史

議員



吉川 美保

議員



調査の必要性を十分認識しています。今後は、調査の実施内容等について検討していきます。

※ ナッジ理論は、他人への影響を伝え、避難を促すという観点から、防災にも活用ができるのではないかと考えています。

市民生活部長

ナッジ理論を防災へ応用しようとしている自治体があります。今後は、先進自治体等の情報収集に努め、住民の方の避難の呼びかけへの応用等、活用できるところは取り入れていきたいと考えています。

市民生活部長

今回の台風19号洪水等

で住民がどのような行動を取り、どのような結果であったかを把握する事は重要であり、住民の方への意識

甚大な水害を受けた住民の意識・意向調査を

市民生活部長／調査の実施内容を検討していきます

気象状況の変化により、普段から避難経路を考えていないと行動は出来ません。マイ・タイムラインやマイマップ作成講習会の推進を。

市民生活部長

県の住民避難力強化事業としてマイ・タイムラインやマイマップ作成を、昨年度は塩原地区で、今年度は山方2区で行っています。来年度以降も県へ事業の実施の要望と、市独自でも防災講習会やワークショップ等を実施していきたいと考えています。

乳幼児世帯に液体ミルクの備蓄意識啓発を。

保健福祉部長

液体ミルクは昨年8月に国内での製造・販売が解禁され、今年10月に国は災

害時における妊産婦や乳児の支援として液体ミルクの活用を推奨しています。このようなことから、乳幼児健康診査の際に液体ミルクの情報を提供し、災害時に備えて家庭での備蓄を推奨することや、市においても災害時に必要な物資として備蓄することを検討していきます。

その他の質問

・次期創生総合戦略について

幼児教育・保育無償化となり、少子化が加速する今後5年間の子ども子育て支援事業計画は、関係者の意向が反映されたものになるのか。

保健福祉部長

無償化後最初の幼稚園・保育所の申し込み状況を把握した上で、その影響を子ども、子育て支援事業計画に反映させる考えです。

幼・保無償化による利用者需要の変化は

保健福祉部長／無償化の影響を子ども・子育て支援事業計画に反映



収穫体験「お豆取れたよ。」(大宮幼稚園)

台風19号の対応・ 自主防災組織の効果について

市民生活部長／
小場区自主防災会の活動を市内各地区に紹介して
自主防災組織の結成につなげていきたい

小場区の10月に組織した
自主防災組織は、有効に活
動できた良い例ですが、他
にもあったのか伺います。

市民生活部長

今回の災害
対応は、小
場区や山方2区等の自主防
災組織と小貫区等の役員
の方が積極的に活動いたしま
した。

小場区自主防災会は、防
災会の会長、副会長、班長
等が一致協力して、避難誘
導、自主避難所の開設・運
営、安否確認等活動をしま

した。13日の午前1時頃か
ら富河原等の住宅を戸別訪
問により避難誘導を実施
し、安否確認を市に報告し
ています。今後、小場自主
防災会の活躍を市内各地区
に紹介して、自主防災組織
の結成率の向上や活動促進
につなげていきます。



高渡町への道路通行止

避難所への災害避難誘導
標識を設置すべきと考えま
すが、伺います。

市民生活部長

災害種別避
難場所表示
の案内板等の整備、普及に
努めます。

河川の土砂掘削と 河川敷整備について

建設部長／河道掘削を
国・県に要請します

国交省において、「洪水
対策は、ダムや遊水地を上
流に設けて流量を減らし、
河川拡幅と河川内の樹木伐
採、土砂掘削で水位を低く
維持する。」と言っており
ます。河川拡幅工事後、
竹林が残るのであれば整備

や竹資源の活用に取り組む
ことも課題であると考えま
す。河川の土砂掘削と河川
敷整備について伺います。

建設部長

市民生活の
安全・安心
をより確実なものとなるよ
う一貫した河川整備計画が
必要なことから、国及び県
に要望してまいります。那
珂川、久慈川の堆積土砂が
多い箇所も、河道掘削を行
っていただけるよう国・県
に要請してまいります。

また、河川敷の竹林は洪
水対策として大変有効なも
のですが、流下を阻止して
いることもあり、この管理
について十分検討していき
ます。

人・農地プランに ついて

産業観光部長／
新規就農者へ積極的に
支援する

新規就農者対応について
伺います。

産業観光部長

農業者の高
齢化や耕作
放棄地の拡大など課題があ
る中、新たな担い手の存在
は地域における農業の将来
に欠かせないものでありま
す。新規就農者へ積極的に
支援してまいります。



富山 和男

議員



小原 明彦

議員



災害対応については

市民生活部長／
区への加入も
お願いしていきます

様々な状況、環境下においても河川の状況の周知への有効な情報手段につながる資料や取り組みも踏まえ、インターネット接続がでない環境の方への周知について伺います。

市民生活部長

テレビのd ボタンの利用方法、内水氾濫等も防災訓練や住民説明会、お知らせ版等で周知を図ります。又、自主防災組織の情報班の編成や区への加入の促進もお願いしていきます。

救助用ゴムボートの強度や耐用年数を踏まえた管理や整備、更新について伺います。

消防長

強い材質のボートを選定することも大事であり耐用年数や経年劣化等の状態を考慮しながら約15年を目途に更新していきます。



救助用ゴムボートの活動

キッズゾーン設置の推進については

保健福祉部長／
設置を検討していきます

キッズゾーンはスクールゾーンに準じる安全対策であり早急な対応を求められる箇所もあるのではないでしょうか。設置の推進について伺います。

保健福祉部長

スクールの設置の枠組みや取り組みを参考に道路管理者や警察と十分に協議して設置を検討していきます。

ふるさと応援寄附については

市長／企業版ふるさと納税についての調査研究を進めていきます

空き家の管理を支援するサービスや温泉利用のサービス、バーベキュー施設の利用サービス等の体験、実行型の返礼品の拡充について伺います。

地域創生部長

関係部署と連携し「モノからコトへ」という視点から様々な地域資源の活用は地域の活性化につながりますので体験型返礼品とあわせて魅力度の高い返礼品として検討していきます。

地方創生に貢献する企業として地方公共団体との新

市長

地方公共団体としては財源の確保、民間企業としては税制上の優遇措置や社会貢献のイメージアップなどのメリットがあり、企業参画の促進が十分想定されますので制度導入の実現に向けて調査研究を進めていきます。

避難所の生活環境の抜本的改善を

市民生活部長／今回を教訓に環境向上に努める

避難所の設置数と、その後の人数の推移について伺います。

市民生活部長

12日に10カ所と9カ所、追加分と合わせ、19カ所設置し、12日から13日に約660名の方が避難されました。その後の、14日に約90名、15日から16日に約50名、17日からは30名から20名で推移し、11月16日に閉鎖しました。

自宅に戻るペースが早いという背景には、占有スペースの狭さやプライバシー

への無配慮といった生活環境があるのでは。

市民生活部長

食事については被災直後には備蓄品で対応し、その後は自衛隊の炊き出し、18日以降は弁当等で対応しました。またパーティーションの仕切りや毛布、支援情報の配布などで、避難環境の向上に努めてきました。

ホテルや旅館等を借り上げた2次避難施設を開設すべきだったのでは。

市民生活部長

長期になった場合には、有力な避難施設であり、今後検討していきます。



当市に甚大な被害をもたらした台風19号

原子力災害広域避難計画の実効性は

市民生活部長／国・県などと協議を継続している

東海第二原発再稼働の動きが始まっているが、複合災害が全く想定されていない避難計画の実効性は。

市民生活部長

国・県などと、複合災害時の対応等について協議を継続しています。また実効性の向上のため、来年度

から広域避難訓練を定期的実施していきます。

東海第二原発再稼働に対する市長の認識を伺います。

市長

県と6市村の実質的な事前了解があった時には、国と日本原電の責任において再稼働するものと考えています。

明峰中学校スクールバス脱輪への今後の対応は

教育部長／運転手の安全教育の徹底を指導

10月1日のスクールバスの脱輪の経過を伺います。

教育部長

車両をターンしようとした際、右後方タイヤが30

センチ脱輪し、携帯電話がつながらず、近所の方から借りて連絡し、代替え車両で生徒を降ろしました。教育委員会への連絡は翌朝になり、厳しく指導しました。

6月に策定したマニュアルでは対応を定めているが。

教育部長

携帯電話がつながらなかったこと、教育委員会への連絡が翌朝になったことはマニュアルに基づいていないので厳しく指導しました。

安全のため補助員をつけるべきでは。

教育部長

現在のところ難しいものがあり、委託業者に対し、運転手の安全教育の徹底を指導していきます。



高村 功 議員

その他の質問

・ごみ集積場へのごみ収納庫設置について

高村 和郎

議員



救急車出動の現状は

消防長／過去最高を更新している

全国の救急車の出動件数が2018年は過去最高の660万6000件余。急増の背景には、比較的軽度の患者の利用が増えている事情もあるようですが、本市の現状はどうか、現場到着時間、病院までの搬送時間の推移について伺います。

消防長

2018年の救急出場の件数は、2117件。救急搬送人員数は、2018人でいずれも過去最高を更新しています。2014年との比較では、件数で286件、人員数で187人増となっています。

現場到着までの時間は、2018年が平均11・4分、2014年は10・7分でしたが医療機関への搬送時間は、2018年が53・3分で2014年は54・5分でした。

改善に努めるとのことですが、これまでの経緯と現状について伺います。

教育部長

利用の対象に、通学距離について基準を設けることも必要と考えています

現場到着までの時間は、2018年が平均11・4分、2014年は10・7分でしたが医療機関への搬送時間は、2018年が53・3分で2014年は54・5分でした。

スクールバス 運行の現状は

教育部長／遠距離通学の負担解消が必要

スクールバス運行の未確立コースを含めての運行のあり方の協議と通学環境の

利用の対象に、通学距離について基準を設けることも必要と考えています。現在スクールバスに乗車している児童・生徒が乗れなくなる課題があり、コース全体の見直しと乗車場所、通学距離などを改めて検討しているため、時間を要しています。また、同じ学校内でスクールバスに乗車している児童・生徒と、それより遠くから通学している児童・生徒の負担解消が必要と認識していますので、早期の具体的な見直しを図っていきます。

乗車定員と乗車率の調査を

教育部長／早急に調査し、対応する

合併して15年。現状に見合った徒歩・自転車通学の目安を明確にすべきです。スクールバスに空席があるなら、低学年から乗車させられないかとの声があります。乗車定員と乗車率を調査し、余裕のある場合には、乗車できる児童・生徒の範囲を拡大することを検討し、実行できると思いますが。

教育部長

乗車率の低いコースに

児童・生徒がいけないこともあり、今後、公平性を考慮して一定の要件を設けた中で運行していくため、早急

に調査して、できる限り対応していく方向で考えています。



スクールバス

危機管理体制について

保健福祉部長／
福祉避難所の利用は
身体障害者5人、
要介護者1人

市内の在宅療養者数と台
風19号においての福祉避難
所の開設箇所と利用者状況
について伺う。

保健福祉部長

市内の在宅
療養者数は
把握していません。

今回の台風19号では、か
がやきに福祉避難所を開設
しましたが、在宅療養者の
利用は無く、災害弱者は身
体障害者5人、要介護者1
人の計6人が利用しまし
た。

ライフラインの確保等の 後方支援について

市民生活部長／関係機関
と連携の確保をする

電柱、電線の管理は、電
力会社や電気通信会社の範
疇であるが、遠隔地の地権
者や高齢化により、敷地や
電柱周辺等の手入れが疎か
になり、倒木やツタ等によ
る通電障害が発生してい
る。一定の基準や規定を策
定し、関係機関と連携し、
自然災害に強い環境を維持
する時期にきていると感じ
るが見解を伺う。

市民生活部長

台風19号に
おいても、
倒木や強風により、多くの
地域で停電が発生したり、倒

木処理が難航し、復旧に何日

も要した地域もあり、被災
した方の生活に支障をきたす
ため、各関係機関と連絡が
確保できるように努め、住民
の皆様へ復旧見込み等の伝
達ができるよう努めます。

台風19号の事後検証の規
模について伺う。

市民生活部長

国県関係機
関等との減
災協議会や災害対応勉強
会、各種研修会などの場
において、事後検証を進め
ます。市の体制は、今回の災
害対策の教訓及び課題につ
いて検討中です。検証結果
については、防災体制の見
直しや国土強靱化地域計画
作成業務等、継続計画作成
等に反映していきたいと考
えています。

ドクターカー 事業について

消防長／
安定したドクターカー
運行に努力する

医師確保が懸念され、ト
ップセールスにより週2回
の夜間に運用でスタートし
た事業であるが、365日
の夜間を補完する事業の観
点から完成度の見通しにつ
いて伺う。

消防長

現在、週2
回の夜間に
運行をしてはいますが、11月
には、自治医科大学付属さ
いたま医療センターから1
名の医師の協力より本事業
開始以来初めて、週3回の
事業展開をしました。引き

続き医療スタッフの安定し
た確保や関係機関との調整
をし、市民のためにドクタ
ーカー運行に向け努力して
いきたいと考えています。



ドクターカー

司 一 壊

議員



大貫 道夫

議員



環境への様々な取り組み

市長／地球規模の環境保全を

若者の中で環境に対する盛り上がりが見られます。私は未来のために環境対策条例をつくるべきと考えている。今までは、人口減少対策が補助金や交付金に偏った制度をつくってきた。これから日本で最初の条例をつくり環境問題にも取り組んでいく姿勢を見せることも大事である。地域が頑張っているから常陸大宮市というのは素晴らしいところだとアピールしていくべき、どうしても条例化を図るべきと考えるが如何か伺います。

市民生活部長

本市としては環境基本計画に基づく各種施策を推進することでごみの減量化につなげ、地球温暖化防止対策など総合的な環境への取り組みを進め、条例化の提案につきましては参考にさせていただきます。

市長

日本を始め先進国による二酸化炭素の排出による海面上昇、この影響で島嶼国においては、これから危機にさらされるのでは、その状況を考えると、地球規模での環境保全への取り組み、その重要性を実感しています。

地域コミュニティへの対応

市民生活部長／多世代プラットフォームの場づくり

地域コミュニティへの

対応、広い地域の地域自主組織が必要ではないかと考えております。補助金、これについてもいろいろな批判があります。いわゆる補助金依存症にさせてしまつたのではという学術もおります。補助金の限界というか、可能性の低さ、新しい発想、環境対策にしっかりと取り組み、地域がしっかりと結束し、地域を守り合っていく、地域自主組織でしっかりと守る。そういう意識の醸成。他から見て魅力的なまちに、個性豊かな対応が大切なかと地域コミュニティへの対応、地域組織

をどうするのか伺います。

市民生活部長

本市におきましては急速な少子高齢化や人口減少、市民意識の変化、地域での支え合いの希薄化が進み、地域によつては、地域コミュニティ活動が困難なところもあります。このことから本市では、市民協働まちづくり基本計画をもとに地域の課題の解決や、よりよいまちづくりを推進する目的において、昨年度から市協働事業提案制度を設けて、事業を実施しております。事業は、市民団体等から事業提案を頂き、審

査を行い、採択となれば、事業できる仕組みとなっております。今年度地域コミュニティに係る事業としては、多世代プラットフォームの場づくりプロジェクトの提案がありました。旧町村単位の各地域に多世代の人々が集まれるような場を設け、地域住民が安心して暮らせるような環境づくりを実現する提案で、住民同士の触れ合いの場の創設など、新たなコミュニティ活動の場として大きな期待をしています。



報 告 研 修

茨城県市議会議長会議員研修会

期 日：令和元年11月18日から19日 2日間
場 所：ホテル テラス ザ ガーデン水戸（水戸市）

1日目【講演会】
演 題：地方創生は議会改革からはじまる
～住民の期待に応える議会とは～
講 師：中村 健 氏
・早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
・一般財団法人 地球経営推進センター代表理事

2日目【視察研修】
視察場所：量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所
出席者：武石 寿長議員、大貫 道夫議員、富山 和男議員、
坏 司一議員

先進地を視察

広報広聴常任委員会

令和元年10月9日（水）

す。と思いきや、紙に努めて、議会の広報に親しまれる常陸大宮市



らではの
親しまれる常陸大宮市
も進め、より多くの市民に
り入れられるかどうか検討
た。様々な発想を今後、取
に温かみまで感じられまし
感じられるような取り組み
に加えて、未来の希望まで
等、市民の関心を誘う工夫
たちの夢を語るコーナー
の特集記事、さらに子ども
ターゲットを絞った座談会
悩みや経験を持つ方々に
同世代、同業者等、同じ
委員会

また、議会報告会は平成
31年2月に2回開催してい
ます。
また、議会報告会は平成
賞を受賞されています。
年に「マニフェスト大賞優秀
「ギカイの時間」は平成25
あきる野市議会だより
議会だよりについて



東京都あきる野市

本会議・各委員会の議員出欠状況

平成31年1月から令和元年12月までの間に開催された、本会議（定例会・臨時会）、常任委員会等（総務・文教福祉・経済建設・予算決算・広報広聴常任委員会及び議会運営委員会）、特別委員会（創生に関する調査特別委員会・議会改革推進特別委員会）の議員の出退（出席・欠席）状況をお知らせします。（回数）

議員名	①本会議		②常任委員会等 ^{※1}		③特別委員会 ^{※1}	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
坏 司 一	22	0	31	0	8	0
高 村 功	22	0	18	1	8	0
黒 部 博 英	22	0	22	0	14	0
小 原 明 彦	22	0	34	0	8	0
大 瀧 愛 一 郎	22	0	42	0	8	0
岡 崎 欣 也	22	0	31	0	8	0
三 次 弘 史	22	0	19	0	14	0
坂 本 繁 輝	22	0	42	0	14	0
富 山 和 男	22	0	31	0	8	0
大 貫 道 夫	22	0	57	0	8	0
小 森 敬 太 郎	22	0	57	0	13	1
吉 川 美 保	22	0	53	1	14	0
武 石 寿 長	22	0	45	0	14	0
高 村 和 郎	22	0	※2) 39	0	13	1
淀 川 茂 樹	22	0	29	0	—	—
掛 札 行 雄	22	0	19	0	14	0
秋 山 信 夫	21	1	39	3	14	0
金 子 卓	22	0	22	0	14	0

※注1) ②と③の回数については、各議員の特別委員会、常任委員会及び議会運営委員会への委員就任状況により、委員会の開催日が異なるため、出席回数が異なります。

※注2) 予算決算常任委員会（決算）には、議員選出監査委員である、高村和郎議員は審査に加わりません。



茨城県なぎなた連盟の勇姿



なぎなた連盟による演武披露

第1回定例会会期日程（予定）

月日	曜	会 議	事 項
2月27日	木	本 会 議	開会、議案説明
28日	金	休 会	議案調査
3月2日	月	本 会 議 予算決算常任委員会	議案質疑 補正予算
3日	火	本 会 議 常任委員会	補正予算採決
4日	水	常任委員会	
5日	木	常任委員会	
6日	金	予算決算常任委員会	当初予算審査
9日	月	予算決算常任委員会	当初予算審査
10日	火	予算決算常任委員会	当初予算審査
11日	水	本 会 議	一般質問
12日	木	休 会	議案調査
13日	金	本 会 議	一般質問
16日	月	休 会	議案調査
17日	火	本 会 議	委員会審査報告、質疑、 討論、採決、閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴券は、会議の当日に傍聴受付（4階議会事務局）において、先着順により交付します。

傍聴人の定員は30人です。定員を超えた場合は、4階傍聴ロビーのモニターでご覧いただけます。

（第4回定例会の傍聴者は延べ34人でした。）



マスコットキャラクター
ひたまる

表紙の言葉

「箱根駅伝で大活躍した選手と」～常陸大宮クロスカントリー大会

発行責任者 常陸大宮市議会議員長
編集 広報広聴常任委員会
〒319-2292
茨城県常陸大宮市中富町3135-6
TEL 0295-52-1111(代) 内線413
0295-53-0393(直)
FAX 0295-52-2186
E-mail gikai@city.hitachiomiya.lg.jp
URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>
市議会広報は、ホームページでもご覧になれます。

編集後記

今回の市議会定例会の一般質問に1912名が登壇しました。台風12号の被害が甚大であり、その被害内容やその対応が適切であったのかなど災害に関する質問を10名が行いました。執行部はまた災害対策継続中、災害査定中の忙しい中にもかかわらず丁寧な回答をいただきました。今からがスタートです。自主防災組織の立上げ推進や訓練、防災マニュアル変更など、一日も早い安心・安全なまちづくりが皆様とともにできることを願っています。

委員 富山 和男